

Wi-Fi／Bluetooth[®]／パソコン接続

10

Wi-Fi機能の利用	P.115
Bluetooth [®] 機能の利用	P.117
パソコンとUSBケーブルで接続する	P.120

Wi-Fi機能の利用

Wi-Fiを利用してインターネットへ接続できます。

- 対応周波数帯は2.4GHzです (▶P.18)。
- 本機で対応している無線LAN規格は次のとおりです。
IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11n
- 本機で対応している暗号化方式は次のとおりです。
WEP、WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA/WPA2-PSK、
802.1x EAP

アクセスポイントに自動で接続する


1 ホーム画面で  → 「設定」 → 「Wi-Fi」

2 「OFF」

「ON」が表示され、Wi-FiがONになります。
利用可能なアクセスポイントを自動的にスキャンします。



Wi-Fi設定画面

- 1 検出されたアクセスポイントが表示されます。
- 2 電波強度を示します。セキュリティで保護されているアクセスポイントには、右側に  が表示されます。

3 接続するアクセスポイントをタップ

- オープンなアクセスポイントをタップした場合は、アクセスポイントに接続されます。
- **セキュリティで保護されているアクセスポイントに接続する場合**
 - ① パスワードを入力 → 「接続」
 - 「パスワードを表示する」にチェックを付けると、入力したパスワードをそのまま表示します。
 - 「詳細オプションを表示する」にチェックを付けると、プロキシ設定やIP設定 (DHCP/静的) などの設定項目を表示できます。


■ Wi-Fi Protected Setup (WPS) を利用して接続する場合

アクセスポイントがWPSに対応している場合は、以下の操作で接続できます。

- ① 「詳細オプションを表示する」にチェックを付ける
- ② 「WPS」欄をタップ
- ③ 接続方式をタップ
 - 「プッシュボタン」を選択した場合は、「接続」 → 「OK」をタップします。
 - 「アクセスポイントのPIN」を選択した場合は、アクセスポイントのPINを入力 → 「接続」 → 「OK」をタップします。

- 「このデバイスのPIN」を選択した場合は、「接続」→「OK」をタップし、アクセスポイントで本機に表示される暗証番号を入力した後、「OK」をタップします。

■ お知らせ

- 利用可能なアクセスポイントを手動でスキャンする場合は、Wi-Fi設定画面で「スキャン」をタップします。
- Wi-Fiのスリープ設定をする場合は、Wi-Fi設定画面で→「詳細設定」→「スリープ時にWi-Fi接続を維持」→スリープの条件をタップして設定できます。

アクセスポイントに手動設定で接続する

非公開に設定されているアクセスポイントに接続する場合は、設定を手動入力する必要があります。

- 設定に必要な情報は、お使いのWi-Fiアクセスポイントの取扱説明書をご参照ください。社内LANに接続する場合や公衆無線LANサービスをご利用の場合は、接続に必要な情報をあらかじめネットワーク管理者またはサービス提供者から入手してください。


- 1 Wi-Fi設定画面で「ネットワークを追加」
- 2 ネットワークSSIDを入力→「セキュリティ」欄をタップ→セキュリティ方式を選択→パスワードを入力
- 3 「保存」

Wi-Fi接続を切断する

- 1 Wi-Fi設定画面で切断するアクセスポイントをタップ→「切断」

Wi-Fi接続の状況を確認する

以下で現在のWi-Fi接続の状況を確認できます。



- ステータスバー
本機がWi-Fiで接続している場合、ステータスバーに電波強度を示すが表示されます。
- アクセスポイント
Wi-Fi設定画面で、現在接続しているアクセスポイントをタップすると、接続状況、セキュリティ、電波強度などの情報が表示されます。

Wi-Fiの詳細設定をする

Wi-Fiのアクセスポイントを通知する

利用可能なアクセスポイントが検出されたことを通知するように設定できます。

- Wi-FiがONの状態でもWi-Fiのアクセスポイントに接続していない場合に通知します。

- 1 Wi-Fi設定画面で→「詳細設定」→「ネットワークの通知」にチェックを付ける
 - 利用可能なアクセスポイントが検出されると、ステータスバーにを表示して通知します。

静的IPアドレスを使用する

本機の静的IPアドレスを指定してWi-Fiのアクセスポイントに接続するように本機を設定できます。

- 1 Wi-Fi設定画面で接続するアクセスポイントをタップ
- 2 「詳細オプションを表示する」にチェックを付ける
- 3 「IP設定」欄をタップ→「静的」→項目をタップして入力

Bluetooth[®]機能の利用

Bluetooth[®]対応機器と無線接続して、データの送受信ができます。

- Bluetooth[®]機能を利用する前に、「Bluetooth[®]および無線LAN使用に関するご注意」(▶P.17)をよくお読みください。
- 接続する機器の操作については、機器の取扱説明書などをご参照ください。
- 本機と相手側の機器との通信できる距離は、約10m以内です。ただし、壁などの障害物や電波状況などにより変化する可能性があります。
- 市販されているすべてのBluetooth[®]対応機器との接続・動作を保証するものではありません。
- 本機におきましても、Bluetooth[®]機能と無線LAN(Wi-Fi)機能は同じ無線周波数帯を使用していますので、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下や通信が切断される場合があります。

主な仕様と機能

項目	説明
対応バージョン	Bluetooth [®] 標準規格 Ver.3.0 準拠
出力	Bluetooth [®] 標準規格 Power Class 1
通信距離 [*]	約10m以内
使用周波数帯	2400MHz~2483.5MHz
対応プロファイル	GAP : Generic Access Profile HSP : Headset Profile GAVDP : Generic AV Distribution Profile GOEP : Generic Object Exchange Profile PBAP : Phone Book Access Profile SDAP : Service Discovery Application Profile OPP : Object Push Profile A2DP : Advanced Audio Distribution Profile AVRCP : Audio/Video Remote Control Profile HID : Human Interface Device Profile PAN : Personal Area Network Profile

^{*}：壁などの障害物や電波状況などにより変化する可能性があります。

Bluetooth®機能をONにする

- 1 ホーム画面で ⊕ →「設定」→「Bluetooth」→「OFF」
「ON」が表示され、Bluetooth®機能がONになります。
ステータスバーに Ⓜ (グレー)が表示されます。

本機を検出可能にする

- 1 ホーム画面で ⊕ →「設定」→「Bluetooth」
Bluetooth設定画面が表示されます。
- 2 「GT01」
「GT01」の下に「周辺のすべてのBluetoothデバイスに表示」と表示され、右側には本機が検出可能な状態の残り時間が表示されます。お買い上げ時、検出可能な時間は、2分に設定されています。
 - Bluetooth設定画面で Ⓜ →「表示のタイムアウト」をタップすると、本機を検出可能にする時間を設定できます。

端末の名前を変更する

他のBluetooth®対応機器で、本機を検出したときに表示される名前を変更します。

- 1 Bluetooth設定画面で Ⓜ →「タブレットの名前を変更」
- 2 端末の名前を入力→「名前を変更」

ペアリング／接続

本機と他のBluetooth®対応機器でデータのやり取りが行えるように、他の機器とペアリング／接続を行います。


他のBluetooth®対応機器とペアリング／接続する

- 1 Bluetooth設定画面で「デバイスの検索」
「使用可能なデバイス」欄に、検出されたBluetooth®対応機器が一覧表示されます。
- 2 ペアリング／接続を行う機器をタップ
- 3 画面の指示に従ってペアリング／接続
「ペアリングされたデバイス」欄にペアリング／接続したBluetooth®機器の名前が表示されます。
 - 必要に応じてBluetooth®パスキー（認証用コード）を入力します。データのやり取りを行う機器ですが、同じBluetooth®パスキーを入力する必要があります。
Bluetooth®パスキーは、機器の取扱説明書などをご確認ください。


ペアリング／接続を解除する

1 Bluetooth設定画面で解除操作を行う


■ Bluetooth®対応機器とのペアリングを解除する場合

- ① 「ペアリングされたデバイス」欄のペアリングを解除する機器名称の
- ② 「ペアを解除」

■ Bluetooth®対応機器との接続を解除する場合

- ① 「ペアリングされたデバイス」欄の接続を解除する機器名称をタップ
 -  → 「ペアを解除」をタップすると、接続とペアリングの両方を解除できます。
- ② 「OK」

■ お知らせ

- 相手側の機器によっては、をタップして名前の変更や、プロフィールの設定変更などができます。

データの送受信

- あらかじめ本機のBluetooth®機能をONにし、データを送信する相手側の機器とペアリングしておいてください。


データを受信する

1 相手側の機器からデータを送信


2 ステータスバーにが表示されたら通知パネルを開く

3 受信するファイルをタップ→「承諾」

ファイルの受信が開始されます。

受信が完了するとステータスバーにが表示されます。

■ お知らせ

- 本機で受信したデータは、microSDカード／内部ストレージの「bluetooth」フォルダ内の対応するフォルダに保存されます（保存先は「データ保存先設定」(P.44)の設定により異なります)。


受信したデータを確認する

- Bluetooth設定画面で「受信済みファイルを表示」

データを送信する


アドレス帳、静止画、動画などのデータを、他のBluetooth®対応機器に送信できます。

- 各アプリケーションのメニューから「Bluetooth」

• 機能によっては、が表示される場合があります。

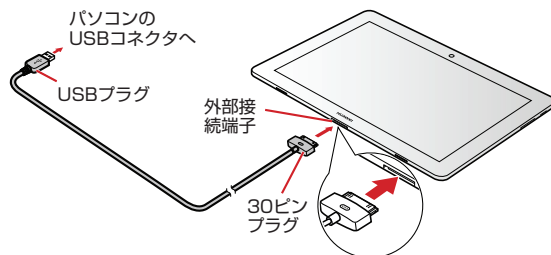
- データを送信する相手側の機器をタップ

相手側の機器で受信操作を行うと、データの送信が開始されます。

送信が完了するとステータスバーにが表示されます。

パソコンとUSBケーブルで接続する

付属のUSBケーブルを使用して、本機とパソコンなどの外部機器を接続します。




- 本機と接続可能なパソコンの動作環境は次のとおりです。

項目	説明
パソコン本体	USBポートを搭載したPC-AT互換機
OS	Windows 7 (32ビットおよび64ビット)、Windows Vista (32ビットおよび64ビット)、Windows XP (SP3以降/32ビット)の各日本語版
メモリ容量※	64Mバイト以上 (128Mバイト以上を推奨)
ハードディスクの空き容量※	64Mバイト以上

※：動作に必要なメモリ容量、ハードディスクの空き容量です。

本機をUSBストレージとして使用する

本機とパソコンをUSBケーブルで接続して、本機に取り付けられているmicroSDカードとデータをやり取りできます。

- 1 本機とパソコンをUSBケーブルで接続
「ストレージの設定」画面が表示されます。
- 2 「USBマストレージ」→「OK」
「USBマストレージ」の右側にが表示されます。
- 3 パソコンを操作して、microSDカード内のファイルに対してコピー／編集／削除などの操作を行う
 - USBストレージの操作を終了する場合
 - ① パソコンのタスクトレイで本機を安全に取り外すための操作を行う
 - ② 操作の完了を確認後、USBケーブルを取り外す


本機をデジタルオーディオデバイスとして使用する

本機とパソコンをUSBケーブルで接続して、MTP (Media Transfer Protocol) モードにすると、音楽や動画などのデータを本機の内部ストレージ (本機内のメモリ) またはSDカード (microSDカード) に転送できます。

パソコンにドライバをインストールする

Windows XPで動作するパソコンにMTPモードで接続する場合は、事前に以下の操作を行い、パソコンにドライバをインストールしてください。

- 本機用のドライバは、Windows OS日本語版に対応しています。
- Windows 7、Windows Vistaで動作するパソコンにおいても、MTPモードで接続できない場合は、同様の操作手順でパソコンにドライバをインストールしてください。

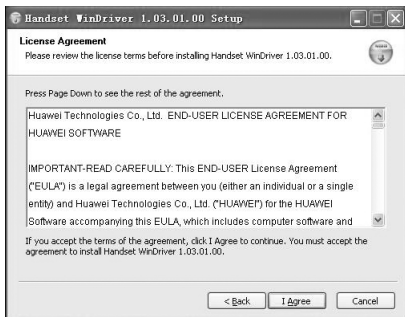
- 1 本機とパソコンをUSBケーブルで接続
「ストレージの接続」画面が表示されます。
- 2 「コンピュータドライバ」
「コンピュータドライバ」の右側にが表示されます。
- 3 パソコンの「スタート」→「マイ コンピュータ」
→「cd (X :)」をクリック
 - Xにはパソコンの環境や設定によって、任意のドライブ名 (「E」など) が表示されます。

4 「HandsetWinDriver.exe」をダブルクリック

5 「NEXT」をクリック

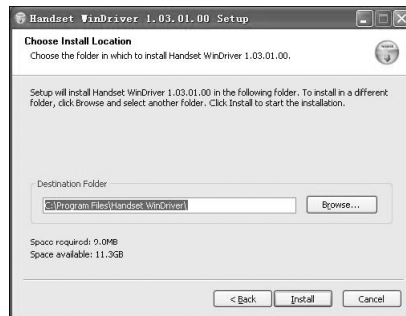


6 「I Agree」をクリック



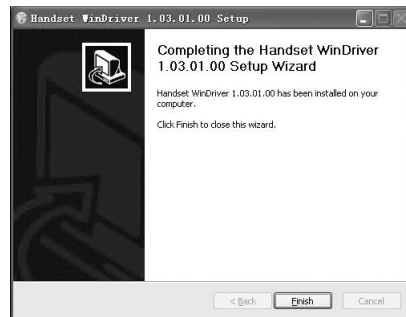
7 「Install」をクリック

ドライバのインストールが開始され、完了すると Completing画面が表示されます。



10

8 「Finish」をクリック



本機をデジタルオーディオデバイスとして接続する

- 1 本機とパソコンをUSBケーブルで接続
「ストレージの設定」画面が表示されます。
- 2 「メディアデバイス (MTP)」
「メディアデバイス (MTP)」の右側にが表示されます。
- 3 「SDカード」(microSDカード) / 「内部ストレージ」(本機内のメモリ) →パソコンでデータのやり取りなど操作を行う
 - Windows Media Playerとの同期操作を行うこともできます。


■ お知らせ


- 著作権が保護されているデータを本機に転送すると、再生できない場合があります。また、データを本機以外に転送すると、再生できない場合があります。

本機をデジタルカメラとして使用する


本機とパソコンをUSBケーブルで接続して、PTP (Picture Transfer Protocol) モードにすると、本機で撮影した静止画や動画をパソコンに転送できます。


- 1 本機とパソコンをUSBケーブルで接続
「ストレージの設定」画面が表示されます。

- 2 「カメラ (PTP)」
「カメラ (PTP)」の右側にが表示されます。

- 3 「SDカード」(microSDカード) / 「内部ストレージ」(本機内のメモリ) →パソコンでデータのやり取りなど操作を行う
 - パソコンからは、内部ストレージ/microSDカードの「DCIM」 / 「Pictures」フォルダに保存されているデータにアクセスできます (アクセス先は「データ保存先設定」( P.44) の設定により異なります)。

microSDカードのマウントを解除する

microSDカードの認識を解除して本機から安全に取り外せるようにします (マウント解除)。microSDカードのマウントを解除した後、取り外しを行ってください ( P.28)。

- 1 ホーム画面で → 「設定」
- 2 「ストレージ」 → 「SDカードのマウント解除」
 - メッセージが表示されます。内容をご確認ください。
- 3 「OK」

■ お知らせ

- microSDカードのマウントを解除すると、microSDカードのデータを再生したり、microSDカードにデータを保存したりできなくなります。

microSDカードをフォーマットする

microSDカードをフォーマット（初期化）します。

- フォーマットを行うと microSD カード内のデータがすべて消去されますのでご注意ください。

1 ホーム画面で  → 「設定」

2 「ストレージ」 → 「SDカード内データを消去」 → 「SDカード内データを消去」

3 フォーマット形式を選択 → 「OK」

「FAT32」、 「NTFS」 から選択できます。

- 「FAT32」 は、より多くのOSに対応したフォーマット形式ですが、最大ファイルサイズが4GBに制限されます。
「NTFS」 は、より新しいフォーマット形式で、データの信頼性や安全性が向上しています。

4 「全て削除」

フォーマットが終了すると自動的にマウントされ、microSDカードが使用可能な状態になります。

- 消去されたデータは元に戻せません。